

☑ 平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報														☑ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1〜2個記入してください。																					
事務事業名		出産祝金支給経費				補助区分		<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単		終期		<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目		区分		一般会計		款		3		項		2		目		1		事業		4	
担当部		保健福祉部		担当課		こども課				担当係		支援		係		作成者		菊地		内線(電話番号)		1331		シート作成日		H30.6.7		部長決裁日		H30.6.7					
位置付けられている計画等		<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市子ども・子育て支援事業計画)				根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 常総市出産祝金支給条例施行規則) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市出産祝金支給条例)																							

2 事務事業の目的														☑ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題		新生児が生まれた家庭に出産祝金を支給することにより、時代を担う児童の誕生を祝福するとともに、児童の健全な育成を促し、もって福祉の増進に資することを目的として行っているが、年々出生児童数は減少傾向にある。				誰・何を対象に		新生児の保護者				どのような方法・手順で		出産祝金の支給を受けようとする者(住民基本台帳に記録された後、引き続き6ヶ月以上本市に住所を有する者、永住者の在留者、特別永住者)は出産日の翌日から起算して90日以内に市長に申請する。受理した申請書は、内容を調査(税金の滞納調査等)し、祝金(第1子5,000円、第2子10,000円、第3子以降20,000円)を申請者に支給する。				望ましい状態		子ども子育て支援事業計画が市民の方にとって魅力的な事業計画とされ、今後、常総市で子どもを産み育てていきたいと思えるような、少子化対策事業となる。							

3 事務事業の主たる成果指標																					
指標名		第2子以降出生率		単位		%		目標値		63		目標年次		平成 34 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		常総市で第2子以降を出生した世帯が平成23年度全体出生率の54%から平成29年度60%と上がっている。2人目以降も常総市で産み育てたいと思える施策が定住促進にもつながっていくよう、増額など金額面を含めた事業の見直しを検討していく。			

4 事務事業の実績 ㊦														☑ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																	
年度		平成27年度				平成28年度				平成29年度				業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量							
事務事業を構成する主な業務		① 出産祝金請求者の申請・受付				① 出産祝金請求者の申請・受付				① 出産祝金請求者の申請・受付				398件		398件		368件		368件		334件		334件							
		② 出産祝金申請者の審査				② 出産祝金申請者の審査				② 出産祝金申請者の審査				398件		398件		368件		368件		334件		334件							
		③ 出産祝金申請者への決定・通知				③ 出産祝金申請者への決定・通知				③ 出産祝金申請者への決定・通知				398件		398件		368件		368件		334件		334件							
		④ 出産祝金支給決定者への支給				④ 出産祝金支給決定者への支給				④ 出産祝金支給決定者への支給				369件		344件		344件		294件		294件		294件							
		⑤				⑤				⑤																					
		⑥				⑥				⑥																					
		⑦				⑦				⑦																					
		⑧				⑧				⑧																					
		⑨				⑨				⑨																					
		⑩				⑩				⑩																					
		⑪				⑪				⑪																					
		⑫				⑫				⑫																					
		目標値に対する実績値				目標値に対する実績値				目標値に対する実績値				93		93		87		%		%		%							
決算額		計		3,724,000 円		内訳		特定財源 0 円		一般財源 3,724,000 円		計		3,479,000 円		内訳		特定財源 0 円		一般財源 3,479,000 円		計		2,894,000 円		内訳		特定財源 0 円		一般財源 2,894,000 円	
				(住民一人あたりの行政コスト)				60 円				(住民一人あたりの行政コスト)				57 円				(住民一人あたりの行政コスト)				48 円							

5 担当者評価 ㊧														☑ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果		目標未達成		成果内容		出産祝金が受給できることが影響しているかといえば疑問もあるが、緩やかではあるが全体出生数から第2子以降の出生率の割合は増加傾向にはなっている。				問題点		常総市で出産し、第2子以降も常総市で子どもを産みたいと思ってもらえるようになるには、金額的に魅力が薄いと感じる。今後更に第2子以降も常総市で出産したいと思っただけのような、金額も含めた施策の検討が課題である。															

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨														☑ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充				<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり				<input type="checkbox"/> 縮小				<input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由		少子化対策については、市民ニーズの高い施策を今後検討することとし、現事業については現行どおりとした。																									

7 実施計画 ㊩														☑ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。																													
年度		平成30年度				平成31年度				平成32年度				事業内容		歳出		計		3,409 千円		歳出		計		3,626 千円		歳出		計		3,628 千円											
		● 出産祝金申請者の申請・受付 ● 出産祝金申請者に対する審査 ● 出産祝金申請者への決定・通知 ● 出産祝決定者への支給 ※扶助費: 3,400,000円 第1子: 132人 × 5,000円 = 660,000円 第2子: 134人 × 10,000円 = 1,340,000円 第3子以降: 70人 × 20,000円 = 1,400,000円 ※消耗品費: 9,000円				● 出産祝金申請者の申請・受付 ● 出産祝金申請者に対する審査 ● 出産祝金申請者への決定・通知 ● 出産祝決定者への支給 ※扶助費: 3,550,000円 第1子: 137人 × 5,000円 = 685,000円 第2子: 129人 × 10,000円 = 1,290,000円 第3子以降: 69人 × 20,000円 = 1,380,000円 ※消耗品費: 9,000円 ※システム借上料: 262,000円 (平成31年度よりシステム導入)				● 出産祝金申請者の申請・受付 ● 出産祝金申請者に対する審査 ● 出産祝金申請者への決定・通知 ● 出産祝決定者への支給 ※扶助費: 3,550,000円 第1子: 137人 × 5,000円 = 685,000円 第2子: 129人 × 10,000円 = 1,290,000円 第3子以降: 69人 × 20,000円 = 1,380,000円 ※消耗品費: 9,000円 ※システム借上料: 264,000円				歳入		計		0 千円		歳入		計		3,409 千円		歳入		計		3,626 千円		歳入		計		3,628 千円		歳入		計		3,628 千円	
		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		一般財源		3,409 千円		一般財源		3,626 千円		一般財源		3,628 千円		計		3,409 千円		計		3,626 千円											

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29〜31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、当該事業が常総市の少子化対策としてメインの事業であるならば、第一子5000円のみではなく、幼児の本や、母親への実用的な贈り物など、もう少しあたたかみのある物をプラスしてもよいと思われる。常総市の優しさのアピールが、子育て世代への強力な味方になるのではないかと。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪																	
事務事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充				<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり				<input type="checkbox"/> 縮小				<input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由		本事業は、次代を担う児童の誕生を祝福するとともに、児童の健全な発育を促し、もって福祉の増進に資することを目的としている。しかし、今後、全般的にな少子化対策事業の見直しを行う際には、本事業における内容の検討を考える必要がある。															

11 事務事業の改善理由 ㊫														☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容		祝金の支給として「第2子以降も本市で出産したい」と思っただけのような制度、また、定住促進にもつなげられるような魅力ある制度にするために、金額面だけでなく事業内容全体の見直し、検討を行っていく。																									